

文芸 小くらがわ

俳句

【茂山俳句会】

こぼれ秋遠出のできぬ我に添ひ

海老澤 幸子

蝉の声とだえて老いの作句かな

松崎 いま

虫の音に誘はれ夜道そこらまで

塚本 幸子

ひつそりと空家を照らす小望月

笠倉 陽子

ひねもすを湖に風あり鴨来る

鈴木 ノブ子

秋暑し閉店近き百貨店

今井 繁子

かまどむしひよいと飛び来てひよいと消ゆ

斉藤 みよ

曼珠沙華過疎の夕日赤々と

岩瀬 のぶ子

朝顔やいつも机上に硯箱

金子 弘毅

名月や古里訛おのずから

皆川 一女

秋場所の放映時を遣り繰りぬ

大関 くに

この辺り古戦場とや曼珠沙華

宮本 立男

放棄地に葛の花咲く意のままに

植竹 ふみ

故郷は月夜なるかな蔵の町

吉原 秀子

夏ゆくや雲足早き山の駅

渡部 千恵子

衣被訛り飛び交ふ老介護

君島 真理子

母逝きて敬老の日の煮豆かな

吉原 京子

肩並べ老いの見上げる月今宵

酒寄 誠

阿弥陀ヶ原今錦秋の十界図

海老沢 静夫

【岩瀬俳句会】

老いてなほ父母恋し秋彼岸

細谷 充女

栗の実を我と一緒にリス運ぶ

入山 比呂子

境内の万葉歌碑に木の実落つ

渡部 千恵子

ふっかけ避けて覗きぬ湊繫釈迦

萩原 きしの

【一般投稿】
さるすべり大きくゆるる風まかせ

長堀 芳江

短歌

【一般投稿】

南権太より四人の子連れて引き揚げし故郷の
母の百四歳となる

小谷 善伸



通所介護（短時間・1日）リハビリテーション部
居宅介護支援（ケアマネジャー）

リハビリハート総合介護ケアセンター

理学療法士 本橋寛樹

介護のご相談・リハビリ無料体験ご送迎も可能

0296-73-6965

桜川市西桜川2-18-5(50号扱い) 晤實さん・茨城トヨタさんとなり